

診療情報を利用した臨床研究について

平塚共済病院 外科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身やご家族がこの研究対象者にあたると思われる方の中で、ご質問のある場合、またはこの研究に診療情報を使ってほしくないとお思いになりましたら、遠慮なく下記問い合わせ先までご連絡下さい。なお、登録を拒否されたことで、日常の診療等において患者さんが不利益を被ることは一切ございません。

(1) 研究概要について

臨床病期 I・III大腸癌の原発巣切除前の CT 検査で認められ、良悪性の診断が得られない肺結節 (Indeterminate Pulmonary Nodule: IPN) に関する多施設共同前向き観察研究

研究期間： 2020年 12月 1日 ～ 2023年 6月 30日

実施責任者：平塚共済病院 外科 谷 和行

(2) 対象となる方

臨床病期 (Stage) I・IIIの大腸癌大腸癌の術前の胸部CT検査で肺に良悪性の診断がはっきりつかない小さい結節 (影) がある方。

(3) 研究の意義・目的

大腸癌の原発巣切除前の CT 検査で良悪性の診断が得られない肺の小さな影 (結節) があるとき、それが後に大腸癌の転移と判断される割合を明らかにする。また、術前の情報 (臨床所見) や原発巣 (大腸癌) の情報 (病理組織学所見など) との関連性を検討することで、診断精度が上がるようにする。

(4) 研究の方法

大腸癌術後に通常の術後フォローに従って胸部の CT 検査を施行し、その経過を前向きに観察します。術後 1 年間のうちに悪性 (肺転移) と判断した方々と良性 (非転移) と判断した方々とを比較し、臨床・病理組織学的所見や画像所見の関連を検討します。

本研究では診療記録番号 (カルテ番号・患者 ID) やお名前・住所・手術日などの個人を特定する情報は用いませので、それらをまず除いて匿名化した情報のみを用いて検討を行います。

(5) 個人情報の保護・研究成果の公表について

患者様の個人情報については厳重に管理を行い、他の施設とデータを統合する際や学会・学術雑誌等で公表する際には、匿名化や暗号化などで個人が特定されないようにしたうえで使用いたします。

(6) 費用について

患者様にご負担いただく費用はありません。

(7) 問い合わせ等の連絡先

平塚共済病院 外科 沼田 幸司／羽鳥 慎祐

(対応可能時間：平日 9時～17時)

電話：0463-32-1950 (代表)